

2015 年度 韓国国際交流財団 「韓国研究大学院給付奨学生」

学内募集要項〈新規・継続〉

人文科学・社会科学・芸術・文化の分野において「韓国研究」Korean Studies を専攻している大学院学生を対象に、下記のとおり、2015 年度 韓国国際交流財団「韓国研究大学院給付奨学生」の新規・継続募集を行います。

応募を希望する学生は、韓国国際交流財団（Korea Foundation, 以下、財団）のウェブサイト（<http://www.kf.or.kr/>）を必ず参照の上、申請に必要な書類を揃え、所属する研究科担当係宛て提出してください。

記

1. 申請資格（次の全てを満たす者）

- 1) 韓国国際交流財団の 2015 年度募集要項にある「申請資格」の全てを満たす者
- 2) 人文科学・社会科学・芸術・文化の分野（ただし翻訳・通訳除く）を専攻する者
- 3) 受給期間を通じて本学の修士・博士正規課程に在籍する者
- 4) 日本に居住している者（日本国外で研究中の者は申請資格を持たない）
- 5) 学業および研究遂行で韓国語の原書を活用できる程度の韓国語の能力をもつ者
- 6) 優れた学業成績をあげている者
- 7) 韓国に直接関係のある分野を研究し、韓国に関係のある学術論文や博士論文を書く予定の者

－韓国・朝鮮国籍を有している大学院学生は資格を持たない。ただし、韓国・朝鮮以外の国籍を有する韓国人、また韓国・朝鮮国籍の者でも韓国以外に永住権を保有している者（在日韓国人等）は資格を有する。

－自然科学、医学、工学を専攻する者、及び法科大学院に所属する者は資格を持たない。

－韓国国際交流財団における審査では近代社会科学専攻の学生が優先される。

－韓国国際交流財団から他の奨学金を受領している者、または他機関からの給付型奨学金を受領している者は資格を持たない。

2. 給付期間及び金額

給付期間：2015 年 4 月～2016 年 3 月分

給付額（年額）：2015 年 4 月時点で博士課程に在籍している者： \$10,000

2015 年 4 月時点で修士課程に在籍している者： \$6,000

- 給付奨学金は奨学生決定後に 1 年分を一括支給。
- 授業料免除を受けた場合、授業料免除金額分を差し引いた奨学金が支給される。
- 辞退した場合または受給資格を失った場合（1. 申請資格を失った場合及び下記 3 点）、奨学金の返還が求められる。

－奨学金受給期間中に韓国国際交流財団からの他の奨学金、または他機関からの給付型奨学金を受給するとき

- ー奨学金受給期間中に雇用されたとき
- ー学位取得のために韓国に関係のない論文を書くこととしたとき
- 優秀者については、継続が認められる場合がある。ただし、継続にあたっては再申請・再審査が必要となる。
- 修士課程学生は最大2年、博士課程学生は最大4年間の支援を受けることができる。

3. 受給者の義務（受給者は、以下の事項について必ず行う義務をもつ）

- 給付期間終了後、一カ月以内に研究活動報告書を提出する。
- 学位取得後、修士論文または博士論文のコピーを提出する。
- 給付期間終了後も、本学卒業後を含め、研究成果や学会進出状況など、財団からの要請があった際には、各自、随時財団へ報告する。

4. 募集人数

若干名

5. 申請方法

財団 HP (<http://www.kf.or.kr/>) にて” Graduate Studies Fellowship”（韓国専攻大学院生フェローシップ）の詳しい内容を十分確認した上、6. の提出書類①～③（電子ファイル及び紙媒体）を、所属研究科が指定する締切日までに、担当係に提出すること。研究科により締切日が異なるので注意すること。

6. 提出書類

①申請書（学内選考用）＜財団様式＞

※英語またはハングル語で作成のこと。

※ワードで作成し、ワードファイルは各自必ず保管すること。

※6 ページ目にある研究計画書 (Research Proposal) も必ず入力すること。

※2 年目または3 年目の申請者は奨学金受給期間中の進行内容と論文の要約を必ず提出すること。

※本申請書はオンライン申請時の内容とは異なる場合がある。

②申請書、誓約書、申請理由書＜本学指定様式＞

※日本語で作成のこと。

③英文成績証明書 (Grade Transcript of Coursework)

➤ 修士課程在籍者：学部および修士の成績証明書

➤ 博士課程在籍者：学部、修士および博士の成績証明書

※財団のオンライン申請時にアップロードが必要な書類となるため、スキャン・データ保存すること。

④推薦書

- 指導教員からの推薦書 1 部
- 関連専攻教授からの推薦書 1 部

- 韓国語能力評価書 1 部

※申請者がオンライン申請書を提出すると、KF オンライン申請システムで自動的に申請者が指定した推薦者に推薦書の作成を要求する E-mail が発送される。そのため、申請者は必ず申請書を提出する前に推薦者に推薦書を依頼すること。

※大学院奨学制度の継続申請者は指導教員からの推薦書 1 部だけを提出する。

KF オンライン申請時に 3 名の推薦者を記入する欄があるので、指導教員のメールアドレスの他の 2 つの欄には” fellow@kf.or.kr” と記入すること。

※本部国際部国際交流課への提出は不要。

【提出方法】

- 電子ファイルで提出するもの：

①申請書（学内選考用）＜財団様式＞

- 紙媒体で提出するもの： ※全て A4 判で提出すること。

①申請書（学内選考用）＜財団様式＞

②申請書，誓約書，申請理由書＜本学指定様式＞

③英文成績証明書

7. スケジュール

本学において推薦者を決定後、財団よりオンライン申請について必要な ID 及び PW が送付される。推薦者は財団より指示のあるウェブページよりオンライン申請手続きを行い、財団における審査を経て、7 月末（予定）に奨学生としての採否決定を通知し、奨学金の支給を行う。

8. 問い合わせ先

所属研究科担当係または本部国際部国際交流課 (intex-ut@ml.adm.u-tokyo.ac.jp)